

令和元年 9月市長定例記者会見

日 時：令和元年9月2日（月） 午後2時30分～

場 所：射水市役所会議室302

報道出席者：北日本新聞、富山新聞、北陸中日新聞、読売新聞、
チューリップテレビ、ホットライン KOSUGI、庄東タイムス

当局出席者：市長、企画管理部長、財務管理部長、企画管理部次長、
未来創造課長、都市計画課長、総務課長、子育て支援課長

質疑応答の概要

Q 1 . 射水おおぞら保育園病児保育室「さんさん」の受入対象年齢をこのタイミングで拡大した意図について伺いたい。

A 1 . これまでも保護者の方々から拡大の要望があったことから、運営をしている射水おおぞら保育園とも協議を行い、受入体制が整ったため9月から小学2年生まで拡大することになった。今後の利用状況や施設と話をしながら来年4月からは、小学校3年生まで更に拡大していきたいと考えている。

Q 2 . スターバックスの出店に当たり、9月補正に係る費用が計上されていると考えられるが、そのことについて説明していただきたい。また、スターバックスにドライブスルーが併設されるということで、新たな工事が発生するのではと想定されるが、そのスケジュール等は既に決まっているのか伺いたい。

A 2 . スターバックスの出店については、かねてから、歌の森運動公園の利用者へ飲食を提供し、また、憩いの場となる店舗を公募していた。併せて、長寿命化の事業に着手するタイミングでもあったため、店舗が進出するエリアを想定しながら、公園の機能回復、長寿命化工事を進める中で出店場所に対応できる形にしようと考えている。公園の整備についてはこの関連予算で計画的に進める予定である。公園の長寿命化事業の予算は6月に既に計上しているため、事業そのものは予定通り進めていく。かねてから、飲食店の進出に対応できるような計画や設計を行っていた。

Q 3 . 公園施設にスターバックスが来るのは県内では富山市の環水公園に次ぐものなのか、また、改めて射水市にスターバックスができることへの市長の考えを伺いたい。

A 3 . 公園内への出店については、環水公園に次いで歌の森運動公園が県内で2例目だと認識している。今回出店してもらうことで、公園利用者の方々にとっての憩いの場として親しんでほしい。また、スターバックスに出店してもらえるとすることはそれだけ地域、市の魅力を評価してもらえたと思っており喜んでいる。

Q 4 . オイルダンパーの件について、交換が決まった連絡はいつ頃どのような形であったのか伺いたい。また、製品交換の施工日は土曜日で閉庁日ではあるが、交換に関する業務や市民サービスへの影響はないと考えて良いか伺いたい。

A 4 . 先般案内があった。国とKYB社との協議の中で、基本的な優先度を決めている。第1が医療福祉施設、第2が教育研究施設、そして、第3に庁舎と続くように順位付けがされており、また、事情があるものは優先された。この間、早期の取換えについて強く申し入れをしてきた中で、12月の交換が決定した。当初、年内は難しいとのことだったが、年内に取り換えられることになり少しは前進したと考える。しかし、庁舎は多くの機能を果たしていかなければならず、この免震装置は災害の発災時に初動体制をしっかりと取ることが市民の安全や生命を守るために重要であると考え導入したが、その設置された製品が不適合品であったことについては、非常に憤りを感じている。正直に言うと、これまでの対応についても、誠意が感じられなかった。今後は、製品の取換えに向けて誠意ある対応をしてほしいと考える。また、交換の施工については、業務への支障がないように行っていただきたい。

Q 5 . スターバックスの出店について、公募型プロポーザルでスターバックス以外に応募された事業者がほかにいるのか、また、駐車場の整備について伺いたい。

A 5 . 応募された事業者は、結果的にスターバックス1社であった。スターバックスには、プレゼンテーションをしてもらい審査員の方に評価してもらった上で今回決定した。駐車場は、旧小杉庁舎が担っていた駐車台数の確保も含めて敷地内において複数の場所は既に整備を進めているため、確保できていると考えている。歌の森運動公園の整備は、公園の長寿命化計画に沿って工事をしており、公園内に店舗が出店できるようなエリアも含めて整備に着手してきた。

Q 6 . オイルダンパーについて、12月7日の工事は1日で終わるのか、また、昨年の11月末頃にKYB社からの謝罪以降、関係者が来庁して直接説明を受けたのか伺いたい。

A 6 . 工事は1日で完了すると聞いている。5月22日に担当者が来庁し市の担当者への説明はあった。

Q 7 . KYB社に対して市長が具体的に誠実ではないと思った点と市の担当者が立ち会う検査を行う工場の位置について、また、改めてKYB社側に説明を求める考えはあるのか伺いたい。

A 7 . まずは、市民の生命を預かる業務を行う市庁舎の製品に不正を行うこと自体が信じられない。この事態の詳細の説明を要請してもなかなか返って来ず、市としても情報を報道等から知る状態であったため、状況説明を迅速に返答してほしかった。また、先方からの返答が来ないため、市民に対しての説明もなかなか行えなかったことに憤りを感じ、このようなことは二度とあってはならないと考える。検査を行う工場は、三重県津市にある。説明を求めるより、まずは、速やかに交換することが第一と考える。工場検査についても不正がないように国土交通省が認定する第三者機関も立ち会うため、今回不正をすることはないと考えてはいるが、速やかに交換をしてほしい。